

資料 4

平成28年11月7日
第5回 神奈川県住宅政策懇話会

神奈川県住生活基本計画における成果指標について

神奈川県住生活基本計画改定における成果指標の設定について

成果指標設定の考え方について

成果指標は、「基本目標」の達成状況を評価し、施策の効果をわかりやすく県民に示すものであり、新全国計画に即しつつ、神奈川県計画に相応しい内容で定める必要があるため、以下の指標とする。（県データの入手が困難な指標等を除く。）

- ① 新全国計画における成果指標
- ② 現行県計画の成果指標（既に終了した事業に係る成果指標、旧全国計画から新全国計画になって削除された成果指標を除く。）
- ③ 改定県計画の重点施策に係る成果指標

基本目標

人生100歳時代に向けて、全ての県民が、安心して、安全で良質な住宅に住み、必要に応じて支えあいながら、魅力あふれ、質の高い住生活が送れる住まいまちづくりの実現

目標1 若年・子育て世帯などが安心して暮らせる住生活の実現

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
1-1	①② (現15)	子育て世帯(18歳未満が含まれる世帯)における誘導居住面積水準達成率 データ:国土交通省独自集計	33.1% H25	50% H37 (全国計画と同じ)
1-2	② (現7)	子育て世帯に配慮した県営住宅の住戸数（県営住宅で、子育て世帯向けに募集した戸数） データ:県独自集計	755戸 H27	1,055戸 H32

目標2 高齢者の多様な住生活の実現

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
2-1	①	高齢者人口に対する高齢者向け住宅の割合 データ:県独自集計	2.45% H26	4% H37 (全国計画と同じ)
2-2	②③ (現3)	高齢者の安定した住まいの確保としてサービス付き高齢者向け住宅の登録戸数 データ:県独自集計	10,303戸 H27	12,500戸 H32
2-3	①	高齢者生活支援施設を併設したサービス付き高齢者向け住宅の割合 データ:県独自集計	71% H27	90% H37 (全国計画と同じ)
2-4	①	建替え等が行われる公的賃貸住宅(100戸以上)における、高齢者世帯、障害者世帯、子育て世帯の支援に資する施設の併設率 データ:国土交通省独自集計	—	90% H37 (全国計画と同じ)
2-5	② (現4)	高齢者や障害者等に配慮した住宅の整備（高齢者の居住する住宅における、2箇所以上の手すり設置、又は屋内の段差解消のいずれかを実施した住宅ストックの割合） データ:住宅・土地統計調査	40.2% H25	55% H37
2-6	② (現6)	県営住宅における高齢者にも使いやすい住宅数（建替え・個別改善等を行った県営住宅の戸数） データ:県独自集計	22,134戸 H27	24,000戸 H32

目標3 住宅確保要配慮者の居住の安定確保

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
3-1	①② (現14)	最低居住面積水準未達の解消 データ:国土交通省独自集計	5.2% H25	早期解消 (全国計画と同じ)
3-2	② (現13)	県営住宅における居住環境改善住戸数（建替え・個別改善等を行った県営住宅の戸数） データ:県独自集計	22,134戸 H27	24,000戸 H32
再掲	①	建替え等が行われる公的賃貸住宅(100戸以上)における、高齢者世帯、障害者世帯、子育て世帯の支援に資する施設の併設率 データ:国土交通省独自集計	—	90% H37 (全国計画と同じ)

目標4 住宅の資産価値が低下しない仕組みについてのムーブメントの創出

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
4-1	①	既存住宅流通量に占める既存住宅売買瑕疵保険に加入した住宅の割合 データ:国土交通省・県独自集計	8.6% H26	20% H37 (全国計画と同じ)
4-2	①② (現10)	新築住宅における認定長期優良住宅の割合 データ:県独自集計	9.8% H27	20% H37 (全国計画と同じ)

目標5 安全で良質な住宅ストックの形成と有効活用

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
5-1	①② (現1)	地震に強い住宅の割合（住宅ストック全体のうち、新耐震基準と同程度の耐震性を有する住宅ストックの比率） データ:県独自集計	89% H25	概ね100% H37 (全国計画と同じ)
5-2	② (現17)	省エネルギー住宅の整備（住宅ストック全体のうち、全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用した住宅ストックの比率） データ:住宅・土地統計調査	19.5% H25	35% H37
5-3	①③	マンションの建替え等の件数(S50からの累計) データ:国土交通省独自集計	25件 H26	50件 H37

目標6 空き家の適切な管理と利活用の促進

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
6-1	①③	空き家対策計画を策定した市町村数(全市町村数に対する割合) データ:県独自集計	1件 H27	26件(概ね8割) H37 (全国計画と同じ)

目標7 住生活に関連した地域経済の活性化

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
7-1	②③ (現21)	近隣の人たちやコミュニティとの関わりについての満足度（住生活総合調査において、「不満」、「まあ不満」以外の回答の比率） データ:住生活総合調査	72.4% H25	75% H37

目標8 まち・住宅地の魅力の維持・向上と大規模災害への備え

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
8-1	①② (現2)	密集市街地の解消（地震時において大規模な火災の可能性があり、重点的な改善が必要な密集市街地） データ:県独自集計	3地区 H26	解消 H37
8-2	② (現8)	住宅・住環境に対する満足度（住生活総合調査において、住宅・住環境に「満足」「まあ満足」と回答した比率） データ:住生活総合調査	77.9% H25	85% H37

目標9 多彩で多様な神奈川の魅力を活かした住生活の実現

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
9-1	③	神奈川県住宅施策認定制度の認定件数 データ:県独自集計	—	30件 H37
9-2	②③ (現22)	住みよいと感じている住民（県民ニーズ調査において、現在住んでいる地域が、「大変住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した比率） データ:県民ニーズ調査	70.3% H27	75% H37

計画全般 施策の総合的な展開について

番号	分類	成果指標	現状値	目標値
10	②③ (現23)	住生活マスタープラン等(簡易計画を含む)を定めた市町村数 データ:県独自集計	6件 H27	12件 H37

現行計画における成果指標の達成状況について

成果指標の達成状況の検証について

計画に位置づけた各施策の達成状況を把握して、成果の的確なフォローアップを実施するため、成果指標を設定している。達成状況の検証により課題となった施策等については、見直しの際の検討項目とする。

【表の見方】	【凡例】
分類 — 全国：全国計画に記載のある成果指標（準ずるものも含む） — 県：県独自の成果指標	
目標値 — 上段は前計画の目標値を掲載 下段は現行計画の目標値を掲載	
評価 — ◎：十分達成、○：達成、△：目標達成に満たない、×：後退	
区分 — 継続(15件)、 削除(理由：① 既に終了した事業に係る指標(1件)、 ② 旧全国計画から新全国計画になって削除された指標(7件))	

基本方向1 安全・安心な住まい・まちづくり

番号	分類	成果指標	現状値	目標値	達成状況	評価/区分
1	全国 95% 概ね解消	地震に強い住宅の割合 住宅ストック全体のうち、新耐震基準と同程度の耐震性を有する住宅ストックの比率（旧耐震基準の住宅のうち、耐震補強された住宅も含む） 出典：住宅・土地統計調査をもとに県集計	86% H20	90% H27 95% H32	89% H25	○/継続(5-1) 概ね達成見込み
2	全国 概ね解消 (概ね解消)	密集市街地の解消 地震時等において大規模な火災の可能性があり、重点的な改善が必要な密集市街地 出典：県独自集計	25地区 H23	— 概ね解消 H32	3地区※ H26	○/継続(8-1) 概ね達成
3	全国 3~5% 4%	高齢者の安定した住まいの確保 サービス付き高齢者向け住宅の登録戸数 出典：県独自集計	1,717戸 H23	— 4,500戸 H26	8,909戸 H26 10,303戸 H27	◎/継続(2-2) 目標以上を達成
4	全国 75% 75%	高齢者や障害者等に配慮した住宅の整備 高齢者(65歳以上の者)の居住する住宅における、2箇所以上の手すり設置、又は屋内の段差解消のいずれかを実施した住宅ストックの割合 出典：住宅・土地統計調査 国土交通省特別集計	37.4% H20	75% H27 75% H32	40.2% H25	△/継続(2-5) 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
5	全国 28% —	高齢者や障害者に配慮した共同住宅の整備 共同住宅のうち、道路から各戸の玄関まで車椅子・ベビーカーで通行可能なように段差解消の整備がされた住宅ストックの比率 出典：住宅・土地統計調査 国土交通省特別集計	17.2% H20	25% H27 28% H32	18.8% H25	△/削除② 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
6	県	県営住宅における高齢者にも使いやすい住戸数 建替え・個別改善等を行った県営住宅の戸数 出典：県独自集計	19,736戸 H22	— 23,400戸 H27	22,134戸 H27	○/継続(2-6) 概ね達成(95%)
7	県	子育て世帯に配慮した県営住宅の住戸数 県営住宅で、子育て世帯向けに募集した戸数 出典：県独自集計	440戸 H22	— 550戸 H27	755戸 H27	◎/継続(1-2) 目標以上を達成

※横浜市において22地区解消したが、これとは別に新たに地震火災対策方針を定め対策を進めている。(対象地域 5,100ha)

基本方向2 良質な住宅・住環境ストックの形成と有効活用

番号	分類	成果指標	現状値	目標値	達成状況	評価/区分
8	県	住宅・住環境に対する満足度 住生活総合調査において、住宅・住環境に「満足」「まあ満足」と回答した比率 出典：住生活総合調査	69% H20	— 増加 H32	77.9% H25	○/継続(8-2) 増加傾向
9	全国 50% —	新築住宅の質・性能の確保 新築住宅における、住宅性能表示の実施率 出典：都道府県別住宅性能評価書交付状況、住宅着工統計	25.3% H20	50% H27 50% H32	27.7% H25	△/削除② 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
10	全国 20% 20%	丈夫で長持ちする省エネ住宅の建設 新築住宅における「長期優良住宅普及促進法」による認定長期優良住宅の認定取得率 出典：県独自集計	9.1% H22	— 20% H32	9.8% H27	△/継続(4-2) 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
11	全国 40年 —	住宅を長く使い続ける 滅失住宅の平均築後年数 出典：住宅・土地統計調査、国土交通省特別集計	約25.3年 H20	40年 H27 約40年 H32	約31.9年 H25	○/削除② ストック活用が進んでいる

番号	分類	成果指標	現状値	目標値	達成状況	評価/区分
12	全国 25% —	中古住宅の流通市場シェア 新築を含めた全住宅の流通戸数に対する、既存住宅の流通戸数の占める比率 出典：住宅・土地統計調査、国土交通省特別集計、住宅着工統計	15.8% H20	23% H27 25% H32	16.9% H25	△/削除② 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
13	県	県営住宅における居住環境改善住戸数 建替え、個別改善を行った県営住宅の戸数 出典：県独自集計	19,736戸 H22	— 23,400戸 H27	22,134戸 H27	○/継続(3-2) 概ね達成(95%)
14	全国 早期解消 早期解消	最低居住面積水準未達の解消 健康で文化的な住生活を営む基礎として必要不可欠な住宅の面積を満たしていない住宅ストックの比率 出典：住宅・土地統計調査、国土交通省特別集計	5% H20	早期解消 H27 早期解消 H32	5.2% H25	×/継続(3-1) 現状値よりダウン(サ高住等面積緩和が影響している可能性)
15	全国 50% 50%	子育て世帯における居住水準の確保 子育て世帯(構成員に18歳未満の者が含まれる世帯)における誘導居住面積水準達成率 出典：住宅・土地統計調査、国土交通省特別集計	29.8% H20	50% H27 50% H32	33.1% H25	△/継続(1-1) 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
16	全国 6% —	リフォームの実施 リフォーム(増改築、修繕又は模様替のいずれかを行う)実施戸数の住宅ストック戸数に対する割合 出典：住宅・土地統計調査、国土交通省特別集計	3.3% H20	5% H27 6% H32	3.4% H25	△/削除② 横ばい傾向
17	県	省エネルギー住宅の整備① 住宅ストック全体のうち、全部又は一部の窓に二重サッシ又は複層ガラスを使用した住宅ストックの比率 出典：住宅・土地統計調査	15.2% H20	40% H27 50% H32	19.5% H25	△/継続(5-2) 目標達成は難しいが比率は上昇傾向
18	全国 100% —	省エネルギー住宅の整備② 「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づく届出がなされた新築住宅における次世代省エネ基準(平成11年基準)の達成率 出典：県独自集計	24% 37% H22	— 100% H32	69% H27	○/削除② 増加傾向

基本方向3 居住コミュニティの創出・再生に向けた住まい・まちづくり

番号	分類	成果指標	現状値	目標値	達成状況	評価/区分
19	県	多世代近居のまちづくりに取り組むモデル地域 多世代近居のまちづくりに取り組むモデル地区の数 出典：県独自集計	0地区 H23	— 4地区 H26	4地区 H26	◎/削除① 目標は達成
20	全国 25% 建替の9割	地域における生活支援拠点の整備 生活支援施設(デイサービス、保育所、病院など)を併設している公的賃貸住宅団地(100戸以上)の数 出典：県独自集計	77団地 H21	— 増加 H32	77団地 H27	△/削除② 横ばい傾向
21	県	近隣の人たちやコミュニティとの関わりについての満足度 住生活総合調査において、近隣の人たちやコミュニティとのかかわりについて「不満」、「まあ不満」以外の回答の比率 出典：住生活総合調査	71.6% H20	— 増加 H32	72.4% H25	○/継続(7-1) 増加傾向
22	県	住みよいと感じている住民 県民ニーズ調査において、現在住んでいる地域が、「大変住みよい」、「どちらかといえば住みよい」と回答した比率 出典：県民ニーズ調査	69.4% H22	— 増加 H32	70.3% H27	○/継続(9-2) 増加傾向

計画全般 施策の総合的な展開について

番号	分類	成果指標	現状値	目標値	達成状況	評価/区分
23	県	住生活マスタープラン等を定めた市町村数 市町村において住生活にかかるマスタープラン等を定めた市町村の数 出典：県独自集計	14 H23	— 33 H32	6 H27	×/継続(10) 現状値よりダウン(新規策定なし、計画改定なし)